

# No. 1412

## 友情と連帯の船

— 第9回洋上セミナー —

愛知・岐阜・三重の東海3県の交通遺児を対象にした洋上セミナーが8月38日から4日間の日程で開かれました。これは東海交通遺児を励ます会が毎年行っているもので今年が9回目。今回は特に障害児も参加し、総勢70名の子供たちが出席しました。「道で障害者に出あったら」と題して開かれたセミナーでは障害者から体験談を聞いたり、交通遺児たちが実際にボランティアになって障害者に接するなど、みんなが安心して生きることのできる社会づくりについて学びました。楽しい食事時間。遺児と障害児たちは思い思いのテーブルで互いの友情を確かめあいました。そして船内はいたるところ交歓の場となりました。甲板で行われた手話体操。心地よい潮風をいっぱいを受けてみんなマスターしようといけんめいです。太平洋まっただなか、友情と連帯の輪は広がっていきます。

## 哀愁とロマン

東京・漁谷の東急ギャラリーでは、今、国吉康雄とベン・シャーン展が開かれています。この二人は、1930年代、経済恐慌で建国以来の危機に見舞われたアメリカ社会の実態を熱っぽく描き続けました。ベン・シャーンは市民生活の哀感にみちた作品やアメリカ文明を諷刺した軽妙な作品を数多く残しました。一方、国吉は、下積みの人々とその背後にある社会の現実にとりくみ、孤独と疲労の表情を浮かべた女性像を多く描いています。時代を共有し、共にその社会的矛盾を訴えつづけたこの二人、アメリカの美術を語る時忘れることはできません。

## 大地震に備えて

— 東京・新宿 —

「防災の日」の9月1日、大規模地震を想定した広域総合防災訓練が行われた。この訓練は東京都をはじめ、東海地震防災対策強化地域に指定されている静岡、神奈川など10都県が合同で行ったもので参加人員も1,200万人に達した。副都心の新宿では超高層ビル、駅などのパニック防止訓練に続いて、「南関東地震が発生」との独自の想定をもとに防火、救出など多彩な訓練が展開された。高速道路は動けなくなった自動車ですべて完全にマヒ状態。道路の機能回復のため、特殊車両が出動、被災地への援助物資の輸送を確保した。高架救出訓練では自衛隊、消防レスキュー隊が次々にいろいろな救出方法を披露。いざとなればこのとおり、これは決死のダイビング。この日中央防災会議々長の鈴木首相が原国土庁長官等と共に訓練会場を視察した。空陸一体となって行われた超高層ビルからの救出訓練に大きくうなづいていた。備えあれば憂いなしとは言うものの「地震警戒宣言」が発令されれば巨大都市東京のパニックは必死。パニックを防止し、整然と地震を迎えうつ態勢をどう整えたらよいか今後の課題のようだ。